

【 果 樹 】

みかん、シャインマスカットについては、年明けの数量も少なく、順調な販売となっている。

今後は、末端の荷動きを見ながらになるが、数量が増える品目（あんぽ柿等）については、相場を弱め量販店の売場拡大（売価誘導）に向けた販売となる見通し。

<あんぽ柿>

京浜市場では、仲卸からの引き合いも弱くなっており、今週に入り徐々に荷動きは鈍化してきている状況となっている。

関西市場では、仲卸も荷を抱え始め、荷の流れは鈍化傾向となっているが、年明けに相場を下げたことによる売価変更が次週に現れ動きは促されそうな状況となっている。

「蜂屋柿 230g トレー」 @特秀 4 L 350~330 円

「平核無 200g トレー」 @特秀 4 L 330~300 円

「蜂屋柿 1Kg 化粧箱」 @特秀 3 L 1,500~1,300 円

【 野 菜 】

果菜類は、九州産を中心に入荷量は回復となったが、年末の相場高騰や滞留在庫により荷動きが重い品目が多く見られた。

葉物類についても年末需要による相場の高騰から一転、年始は荷動きが非常に鈍く相場を下げながらの販売となった。

今後は、週末に全国的に気温高となる予報から各品目入荷量は増量となる見通しで、荷動きを止めないよう相場は弱めながらの販売となる見通し。

<いちご>

今後の増量に備え、拡販に向け相場を下げ、入荷量も本格的な増量とはなっていないが、前段の流通在庫もあり、やや重たい雰囲気漂う販売となっている。入荷産地を問わず、いちご全体に動きは鈍化傾向となっている。

@ L 420~400 円 A 370~350 円

<に ら>

北海道市場は、道内産が増量となる見込み。

京浜市場は東北・関東産の新株が増量となるため、全体量は多く相場は弱含みで売場を広げる販売となる見通し。

@ A L 100~85 円

<春 菊>

各産地出荷量は落ち着いているが、週末の気温高により週明けの出荷が増量となる見通し。

本県産も次週後半に2回目ピークとなる見通しから、相場は弱めて売り込みを強める販売となる見通し。

@ A 130 円 ~ 100 円